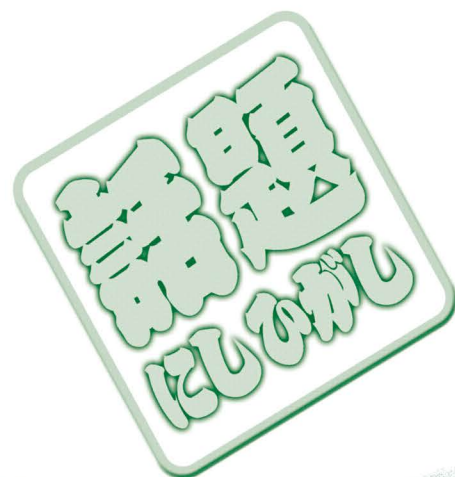


全国大会での活躍を報告

4月3日（金）、鶴田中学校女子柔道部の選手4人が相川町長を訪れ、全国大会での試合結果と出場報告をそれぞれ報告しました。

この日は、同部の澁谷舞^{まりや}さん、佐藤星麗^{せれな}七さん、宮崎七海さん、工藤毬矢^{まひや}さんの4選手のほか、鶴田中学校の工藤清秋校長と顧問の木村英俊教諭が訪問。澁谷さん、佐藤さん、宮崎さんの3選手が、3月29日（日）にさいたま市で行われた全国中学生柔道大会の女子団体の部で準優勝を獲得した喜びを報告した後、工藤さんが、4月12日（日）に開催の「全日本カデ柔道体重別選手権大会」（会場：大阪府）女子ー44kg階級へ青森県代表として出場が決まったことを報告し、全国大会でのさらなる活躍を誓っていました。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までお知らせください。



△全国大会での結果報告と出場報告をする選手たち

頭をなでてけがなし交通安全

春の全国交通安全運動に伴い、4月8日（水）、早朝街頭啓発が行われ、約300人が登校する児童に交通安全を呼び掛けました。

鶴田小学校校門前では、ツル多はげます会（須郷貞次郎会長）が頭に「交通安全宣言のまち」と書かれたのぼり旗を吸盤で張り付け、登校する児童に「頭を触ってみて。けがないよ（毛が無いよ）」と交通安全を呼び掛けていました。児童たちは、「ツルツルして気持ち良かった」「交通事故に遭わないような気がする」と話し、ツルツル頭の御利益にあやかっていました。

同会の成田晃生さんは「子どもたちを体を張って今後も守っていきたい」と意気込んでいました。



△交通事故に遭わないように、ツルツル頭をなでる児童たち

環境の大切さを楽しく学ぶ

当町では、アースデイ（地球のために行動する日）にあわせ、ごみとなる物をリサイクルすることで、環境を守ることの大切さを知ってもらおうと、「アースデイ鶴田」を開催しています。

4月18日（土）、16回目の開催となったイベントには、町内の小学生20人が参加。国際交流員のアンナ・クマシロさんとカイル・ダナヒューさんが企画した、牛乳パックを使ったブーメラン飛ばしやごみの分別ゲーム、ペットボトルのスノーダム作りが行われ、参加した子どもたちが楽しく環境の大切さを学んでいました。

アンナさんは「地球を愛し、優しく大切に扱うことを意識してほしい」と話していました。



△ごみを再利用して楽しく環境の大切さを学びました。



△査察者の相川町長から訓示を受ける分団員たち

火災ゼロを目指しパレード

4月13日（月）～19日（日）までの春の火災予防運動週間にあわせ、鶴田町消防団（下山正彦団長）では19日（日）、火災予防周知の広報パレードと各消防団の査察点検を実施しました。

消防車両9台が巡回して行われた査察点検では、各分団の屯所付近で、アポロキャップを被り、活動服を着た分団員が整列して待機。緊張が高まる中、ラッパ隊の吹奏後、「放水始め！」の号令でポンプ放水が行われ、機械器具の整備状況や服装規律状況に異常が無いことが確認されると、査察者の相川町長に「人員機械器具点検異常なし」と報告。相川町長は「火災ゼロの町を目指しましょう」と訓示を述べていました。

町民の健康を守ることを決意

4月17日（金）、町食生活改善推進協議会（木村夢知子会長）の総会が開かれ、58人の会員が今年度の活動へ決意を新たにしました。

平成2年に結成された同会は、町民の方々の健康を守るため、子どもや大人を対象とした料理教室や講習会、健診時の朝食提供などの食生活改善活動を幅広く行っています。

総会では、会員に委嘱状が交付された後、木村会長が『『私たちの健康は私たちの手で』』をスローガンに、町の食生活改善の一助になれるよう頑張りたい」とあいさつ。相川町長も「今後も協力して町民の皆さんの健康づくりにお力添えをしてほしい」と同会の活動に期待していました。



△木村会長（左）が代表で委嘱状を受け取りました。